

ごあいさつ



ようこそ 九十九里町へ

2024 東金・九十九里波乗りハーフマラソン
実行委員会副委員長・九十九里町長 **浅岡 厚**

2024 東金・九十九里波乗りハーフマラソンの開催にあたり、多くの皆様の九十九里町へのお越しを、心より歓迎申し上げます。

さて、2020 東京オリンピック・パラリンピックの開催記念事業として、東金市との共催で計画された本事業ですが、新型コロナウイルス感染症の影響により、3 年間という長い期間中止となり、昨年ようやくエントリーいただいたランナーの方々や、地域の皆様のご支援・ご協力により、2023 東金・九十九里波乗りハーフマラソン大会として、盛大に開催することができました。

その感謝の気持ちをこめて「感動、again」をコンセプトとして、今回、参加者の皆様には、普段走ることのできない九十九里有料道路から雄大な九十九里浜の景観を楽しんでいただき、太平洋からの恵みを受けた九十九里町ならではの海の幸を存分に堪能していただけたらと思っております。また、大会を通じて心の豊かさや人情味あふれた町民とのふれあいを楽しんでいただき、素晴らしい思い出をご家族やご友人の皆様にもお伝えいただければ幸いです。

九十九里町、東金市をあげておもてなしの心で皆様を歓迎するとともに、参加する方、応援する方、大会運営に関わる方、すべての皆様が活躍できる素晴らしい大会となることを期待しております。そして、本大会を契機に、新たな魅力の発見につながることを願っております。

結びに、本大会の開催にあたりご協力を賜りました協賛者の皆様、大会の準備運営にご尽力いただきました各団体関係者の皆様へ心から御礼を申し上げますとともに、大会に参加する皆様のご健闘を祈念いたしましてあいさつとさせていただきます。

ごあいさつ



ようこそ 東金アリーナへ

2024 東金・九十九里波乗りハーフマラソン
実行委員会副委員長・(公財)東金文化・スポーツ振興財団理事長 **中里重幸**

ようこそ、東金市・九十九里町へ！

全国各地から、2024 東金・九十九里波乗りハーフマラソンに参加していただきありがとうございます。

前回に引き続き、東金アリーナと隣接する陸上競技場を使用してのこのような素晴らしい大会が開催されますことを誇りに思い、関係各位と協力しながら、前回以上の思いを込めて施設や設備を準備して参りました。

本大会の会場である東金アリーナですが、陸上競技場の走路改修工事をいたしました。また、写真判定装置を導入し日本陸上競技連盟第4種L公認競技場として生まれ変わりました。

皆様が東金アリーナ及びリニューアルされた陸上競技場で、快適な時間を過ごされて、万全な状態で思う存分実力を発揮され、大会競技を楽しんでいただければ嬉しく存じます。

結びにあたり、この大会を支えていただきました協賛・協力企業、関係団体、ボランティアすべての皆様へ心から厚くお礼を申し上げ、素晴らしい大会となることを心から祈念しています。

大会ゲスト



たかはし なおこ
高橋 尚子さん

1972年5月6日生まれ/岐阜県出身

中学から本格的に陸上競技を始め、県立岐阜商業高校、大阪学院大学を経て実業団へ。98年名古屋国際女子マラソンで初優勝、以来マラソン6連勝。2000年シドニー五輪金メダルを獲得し、同年国民栄誉賞受賞。2001年ベルリンでは女性として初めて2時間20分を切る世界記録(当時)を樹立する。08年10月現役引退を発表。

公益財団法人日本オリンピック委員会 評議員、公益財団法人日本陸上競技連盟 評議員、公益財団法人日本パラスポーツ協会 理事、一般社団法人パラスポーツ推進ネットワーク 理事長、公益財団法人日本財団パラスポーツセンター 評議員、一般社団法人Rainbow Walking 理事、スタートコーポレーション株式会社 社外取締役、スズキ株式会社 社外取締役、その他 TBS スポーツキャスター、JICA サポーター、中日新聞社本社客員などで活躍中。

オフィシャルアンバサダー



ながた ゆうじ
永田 裕志さん

1968年千葉県東金市生まれ

日本体育大学ではレスリング部に所属し、全日本学生選手権で優勝。輝かしい実績を携え、1992年新日本プロレスに入門する。同年9月にデビュー。

2002年IWGPヘビー級王座を獲得した。その後、高山、藤田、蝶野、バーネットらを相手にベルトを守り続け、連続防衛“V10”という偉業を達成した。“ミスターIWGP”と呼ばれ、日本を代表するレスラーの一人となる。また、新日本、全日本、ノアというメジャー3団体のタッグタイトルも総ナメにした。

2007年には、4年ぶりにIWGPヘビー級王座を戴冠する。

2011年、新日本プロレスのNEW JAPAN CUP & 全日本プロレスのチャンピオン・カーニバルと春の祭典をダブル制覇する。

2016年には、第11代NEVER無差別級王座となるなど、衰えを知らないアラフィフ戦士。

オフィシャルアンバサダー



ながた かつひこ
永田 克彦さん

1973年千葉県東金市生まれ

高校入学後にレスリングを始めるも、全国大会への出場は叶わず。高校時代は全くの無名選手であったが、より強くなりたいとの思いで、当時大学ナンバーワンであった日本体育大学に進学する。その後、持ち前の「努力」を発揮し、大学3年生の時に全日本学生選手権で優勝、学生日本一となる。卒業後もレスリングを続けるために警視庁に就職し、24歳の時に全日本選手権初優勝(以後6連覇)する。

2000年に夢であったシドニー五輪に出場を果たし、銀メダルを獲得する。

より活動の幅を広げていきたいとの意向で、警視庁を退職し、新日本プロレスに入社。2004年、2大会連続となるアテネ五輪に出場するも階級アップ(74kg級)の影響もあり、予選リーグで敗退した。

2010年に新日本プロレスを退職し、調布市に格闘スポーツジム・レスルウインをオープンするなど、経営者及び指導者として活動を行っている。

オフィシャルアンバサダー



どい ゆりえ
土井 友里永さん

1988年千葉県東金市生まれ。東金中学校、成東高校出身。

東京学芸大学では1500mと5000mを専門とし、関東学生陸上競技対校選手権大会(関東インカレ)では共に入賞を果たした。

卒業後は千葉市に本拠地を構える実業団女子陸上部のスタートへ入社。駅伝や5000m、10000mを専門に数々の大会に出場した。中でも、2013年に出場した東日本女子駅伝では千葉県チームのキャプテンを務め、チームを優勝へと導いた。また、個人では5区区間賞を獲得し、3年連続での区間賞獲得となった。その後、5年間在籍したスタートを離れ、競技人生の集大成として、マラソンに挑戦する環境を求めて富士通へ移籍。2018年名古屋ウィメンズマラソン11位(日本人9位)2時間29分49秒(自己記録)のレースをもって現役を引退。

現在は、現役時代の経験を活かして富士通陸上競技部のマネージャーへと転身し、陸上競技の発展や普及のため、尽力している。

大会スケジュール・開会式

【ハーフマラソンの部】
会場・東金アリーナ陸上競技場

- 開場 6:30~
- 開会式 8:30~
 - 開会宣言
 - 実行委員会委員長あいさつ
 - オフィシャルアンバサダーあいさつ
 - 大会ゲストあいさつ
 - 協賛者紹介
 - 主催者・来賓者紹介
 - 特別賞（遠来賞・最年長賞）表彰
 - 審判長注意事項報告
 - 閉会
- スタート 9:20~
- 表彰式 10:35頃~

【ペア（3km）の部】
会場・片貝中央海岸

- 開場 8:00~
- 開会式 9:55~
 - 開会宣言
 - 実行委員会副委員長あいさつ
 - 大会ゲストあいさつ
 - 協賛者紹介
 - 主催者・来賓者紹介
 - 諸注意
 - 閉会
- スタート 10:40~

JR東金線「東金駅」時刻表

（令和6年1月25日現在）

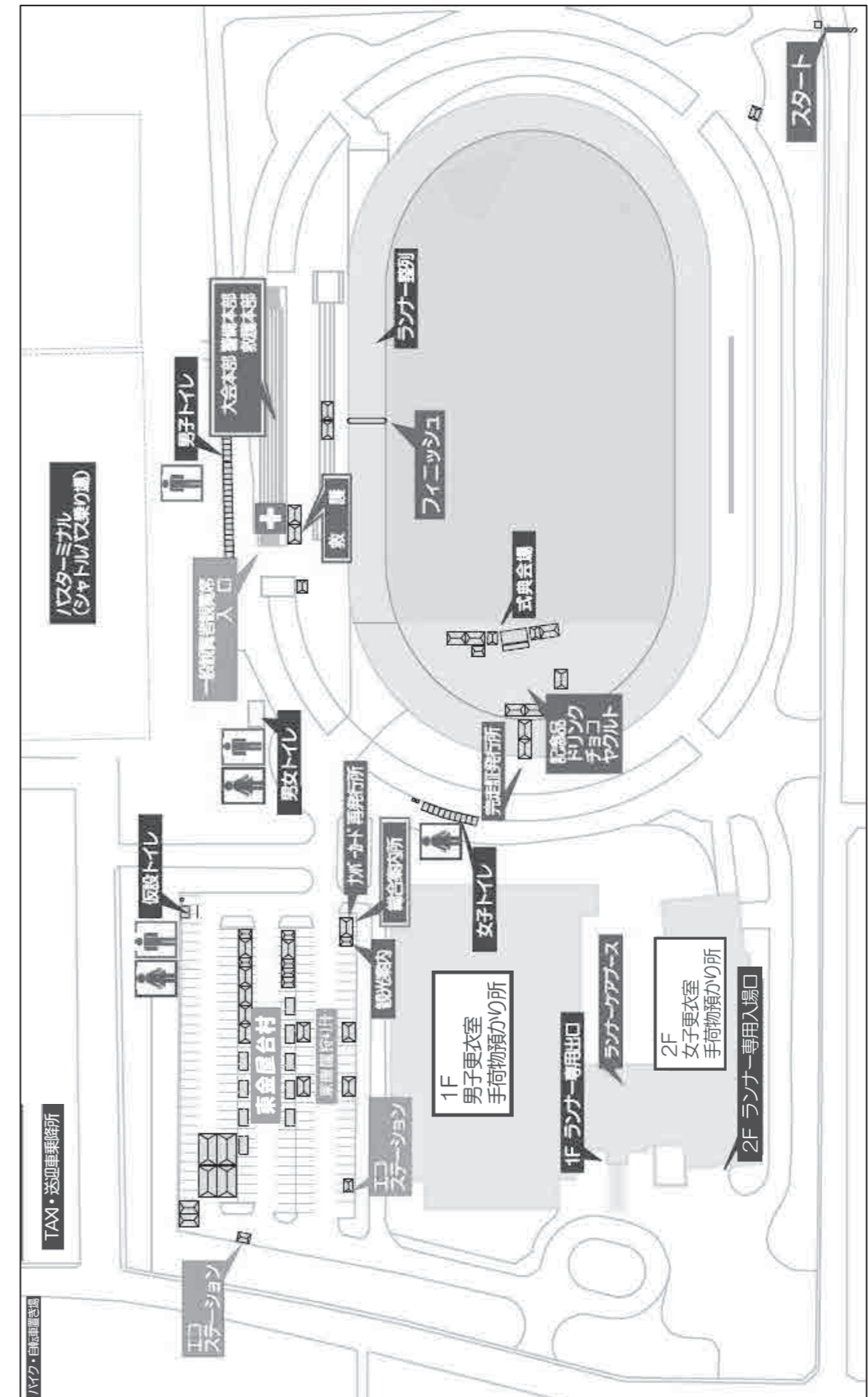
大網・千葉方面（上り）	時	成東方面（下り）
大06	5	33
大00 千42	6	03 17 41
京快08 大18 大47	7	07 <u>35</u> 47
千14 千37	8	14 37
千12 千53	9	12 51
千35 千58	10	34
千57	11	30
<u>大35</u> 千57	12	30
<u>千40</u> 千58	13	30
大57	14	30

無印=成東
大=大網
千=千葉
京快=東京（京葉線直通快速）

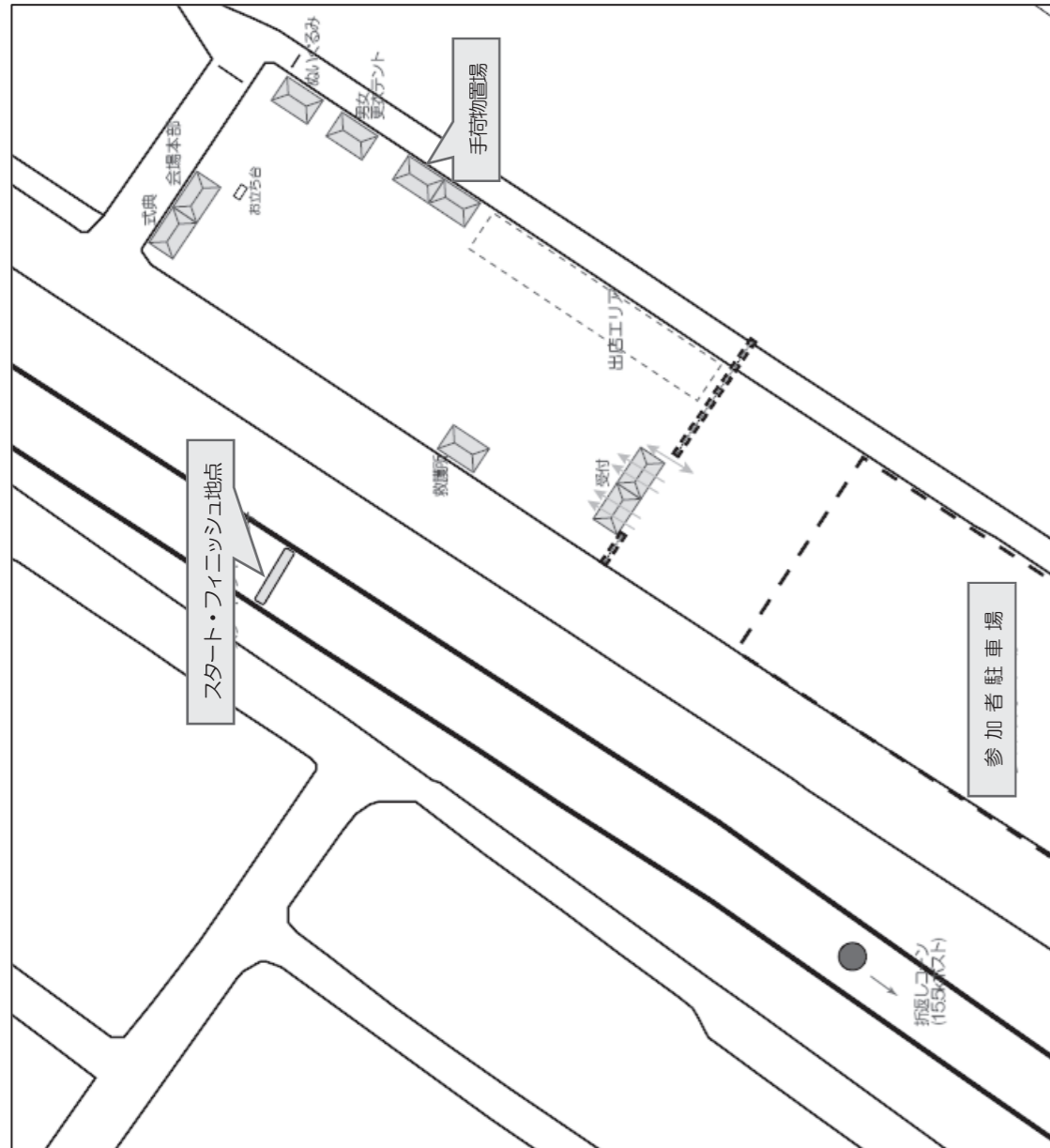
下線=臨時列車

* 2月25日（日） 5時台~14時台までの時刻のみ掲載

メイン会場 東金アリーナ（ハーフマラソンの部）



メイン会場 片貝中央海岸（ペア（3km）の部）



コース図

